

## 来月の岩木健診 弘大が参加募集延長

弘大

コロナ前規模で実施  
申し込みいまひとつ

弘前大学は、今年の岩木健康増進プロジェクト健診（岩木健診）を6月3日から10日間、弘前市の中央公民館岩木館、岩木文化センターあそべーるで実施する。昨年まで新型コロナウイルス感染症防止のための人数制限などがあったが、今回から受け入れを従来の千人程度に戻す。申込数がいまひとつ伸びず、期間を延長して参加者を募っている。

。岩木地区の住民が対象で、参加は無料。

髪の色から脳、疲労度など約3千項目にわたって全身の状態をチェックする健診。2005年に始まり、毎年約千人が参加している

が、2022年はコロナ禍の制限で、参加者は500、700人ほどだった。当初の申し込み締め切りの4月25日時点で約800人が申し込んでいます。

今回から、民間企業が開発したキットで、体から出る微量のガスを調べる項目などが新たに加わる。キットを腕に貼り付けてガスの

成分を測り、疲労度を推測できる。

同大医学部付属健康未来イノベーションセンターの三上達也センター長は「世界一の健診だと自負している。自分の健康状態を知ること、研究に役立つこと、二つの意義がある。参加したことがある人もない人も奮って参加してほしい」と呼びかけている。

対象は岩木地区に住む20歳以上の人。申し込みは弘前市保健センター（電話0172-3750、ファクス同37749）へ。

（伊藤ほなみ）